



江田島市

市勢要覧

自然との共生・  
都市との交流による  
海生交流都市

島模様





# 自然との共生・ 都市との交流による 「海生交流都市」 えたじま

## 市民憲章

私たち江田島市民は、美しい自然や優れた教育文化・伝統を受け継ぎ、すべての人に優しい住みよいまちを築くための道しるべとして、この市民憲章を定めます。

- 一 青い海と、緑豊かな自然を大切にするまちをつくりましょう。
- 一 みんなが笑顔で、健康に暮らせるまちをつくりましょう。
- 一 人権を尊重し、みんながいきいきと生活できるまちをつくりましょう。
- 一 みんなが安全で、安心して暮らせるまちをつくりましょう。
- 一 郷土を愛し、文化の香り高い心豊かなまちをつくりましょう。

## 市章



江田島市の英文頭文字「E」と「海(波)」をモチーフに、江田島市の将来像のイメージをデザイン化。青色は江田島市をとりまく海と空を表し、恵まれた自然環境を象徴しています。

## 市の花「キク」



江田島市は、県内有数の「キク」の産地です。電照菊栽培も行われており、電照菊のハウスが並ぶ夜景は秋の風物詩となっています。また、キクをはじめ花弁類の生産が盛んで、ひろしまフラワーフェスティバルの「花の塔」には、本市の花が毎年使われています。

## 市の木「サクラ」



春を彩る「サクラ」は、森林公園や県道沿いなどに多く植樹され、広く市民に親しまれています。また、第1術科学学校の校内をはじめ能美町の真道山千本桜、江田島町の桜街道など、市内各所で見ることが出来ます。本市とサクラは深いつながりがあります。

## 市の魚「カキ」



全国的に有名な「広島カキ」の中でも、江田島市はその主力を担う国内有数のカキ養殖産地。また、シーズンを通して味覚を楽しめるよう、夏カキ「ひとつぐん」のブランド化を図っています。

## CONTENTS

|                        |    |
|------------------------|----|
| 江田島市の概要                | 03 |
| 海と山と人の島                | 05 |
| オトナも楽しむ海遊び             | 05 |
| コドモに戻って山歩き             | 09 |
| 島の恵み ― 特産品紹介 ―         | 13 |
| 島の歴史と偉人                | 15 |
| 歴史を巡って島に親しむ            | 15 |
| 島の偉人 六角紫水              | 18 |
| 島を楽しむ人たち               | 19 |
| 楽しみは一年中 ― 島の歳時記 ―      | 19 |
| 島暮らしのススメ               | 23 |
| 江田島市の取組                | 25 |
| 江田島市の都市像(将来像)          | 25 |
| まちづくりの基本理念             | 27 |
| まちづくりの展開方向1            | 29 |
| 豊かな教育・文化を創造し、人が輝くまちづくり | 29 |
| まちづくりの展開方向2            | 31 |
| 元気な地域を育てるまちづくり         | 31 |
| まちづくりの展開方向3            | 33 |
| 健康で安心して暮らせるまちづくり       | 33 |
| まちづくりの展開方向4            | 35 |
| 安全で快適な生活環境が整ったまちづくり    | 35 |
| まちづくりの展開方向5            | 37 |
| しっかりとした都市の基盤を備えたまちづくり  | 37 |
| まちづくりの展開方向6            | 39 |
| 交流と連携による交歓のまちづくり       | 39 |
| 江田島市の歩み                | 41 |
| 議会・行政                  | 45 |
| 市長あいさつ                 | 46 |



# 江田島の概要



沖美町の力キひびと力キいかだ

## 位置と面積

本市は、広島湾に浮かぶ江田島・能美島とその周辺に点在する島々から構成されています。広島港及び呉中央港と本市の港間の海上直線最短距離で、広島市から江田島まで約7・5 km(宇品～切串)、能美島まで約12 km(宇品～三高)、呉市から江田島まで約6 km(呉～小用)の位置にあります。早瀬大橋(昭和48年開通)と戸戸大橋(昭和36年開通)を経由して本土と陸続きであり、半島地域として広島都市圏、呉都市圏の機能を分担できる位置関係にあります。

本市は、大小合わせて9の島（江田島・能美島、大黒神島、小黒神島、大奈佐美島、小奈佐美島（絵の島）、安渡島、沖野島、長島、引島）で成り立っており、居住している島は、江田島・能美島となっています。

江田島・能美島を合わせて、東西約12km、南北約19kmで、面積は100・97km<sup>2</sup>となっています。

## 地勢

地形は、野登山(標高542m)、陀峯山(標高438m)、砲台山(標高401m)、古鷹山(標高394m)などで形成される山地や丘陵地が大半を占めます。またまった平地部としては、海岸線の一部と江田島町の中央、江田島町・大柿町の境界に接している江南・飛渡瀬、能美町の中町・鹿川、大柿町の大原の4地区に大別することができ、これらの地区に人口と都市機能が集積しています。

气候

平成2年の呉特別地域気象観測所の気象状況では、年平均気温は16・6℃で温暖な気候です。降水量は年間合計値が1439・5mmで、広島市の1486・5mmに比べて少なくなっています。

交通アクセス

【海路でアクセスする場合】

① フェリー

広島(宇品)↓江田島町(切串)

広島(宇品)↓江田島町(大須)↓沖美町(三高)

広島(宇品)↓能美町(中町・高田)

天応(呉ポ<sup>○</sup>ートピア)↓江田島町(切串)

## ② 高速船

広島(宇品)↓江田島町(切串・小用)

広島(宇品)↓能美町(中町・高田・能美海上

ロツジ

③ 旅客船

吳↓江田島町（秋月）

④フェリー・高速船

吳↓江田島町(小用)

【陸路でアクセスする場合】

広島市↓(国道31号)↓呉市↓(国道487号)

／音戸大橋・早瀬大橋経由）↓江田島市

所要時間／約1時間40分（広島市からの場合）

【広島空港からアクセスする場合】

広島空港↓(リムジンバス)↓広島駅↓(市内

電車)↓宇品・広島港↓(フェリー・高速船)

↓江田島市

所要時間／約2時間





沖野島マリーナ  
(おおがき海の駅)  
ヨット・ボート等の係留施設の  
外、海洋技術の教育、各種セミ  
ナーの開催等を行っています。

青く広がる海と空、波おだや  
かな瀬戸の多島美。移りゆく景  
色を堪能しながら島を巡ると、  
オーシャンビューの露天風呂が  
あるシーサイド温泉のうみや、  
取れ立ての海の幸を購入できる  
海辺の新鮮市場、海にポッカリ  
と浮かぶ能美海上ロッジ、白亜  
のヨットが並ぶ沖野島マリーナ  
など、江田島市ならではの「遊  
び場」に出会えます。

海岸線をのんびりドライブす  
るもよし、滞在してゆったり  
じっくり過ごすもよし。友達と  
一緒に、家族みんなで、はたま  
た一人旅!? この島の楽しみ方  
は、あなた次第です。さあ、潮  
風を胸一杯に吸い込んで。

## 一年中遊べる 温暖な 瀬戸の島



潮風の中で  
五感を満たす



サンビーチおきみ  
全室オーシャンビューで、展望浴場の  
ある宿泊施設です。目の前は入鹿海岸。  
絶好のロケーションが魅力です。

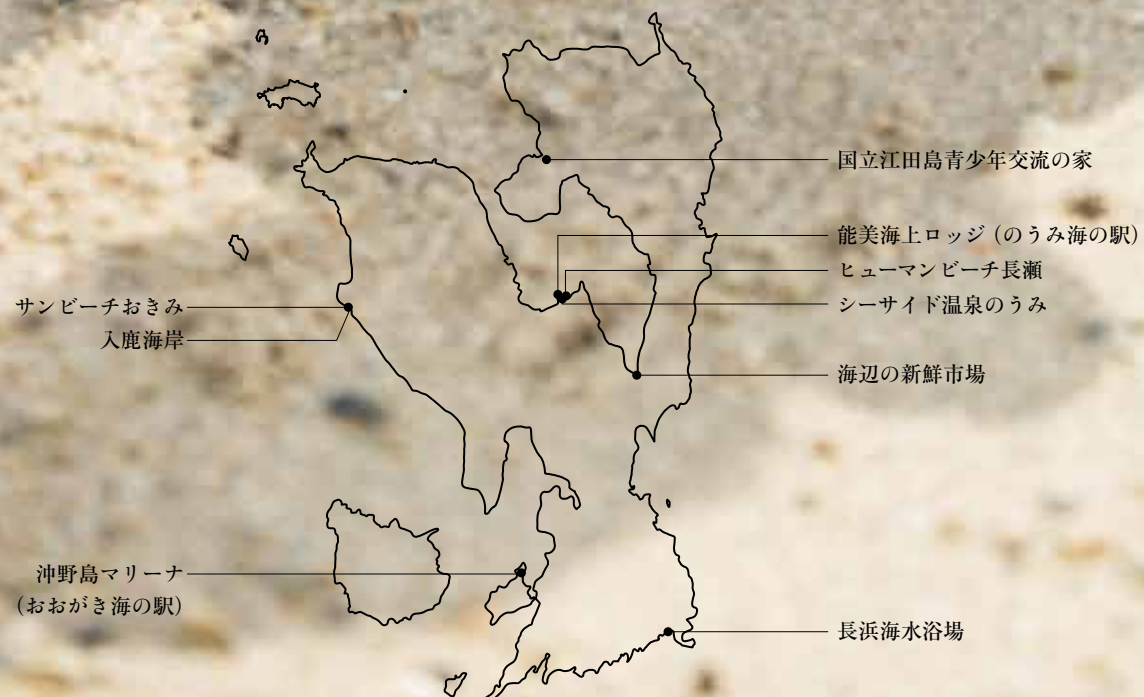


能美海上ロッジ  
(のうみ海の駅)  
数多くある国民宿舎の中でも特にコ  
ニークさを誇る「海に浮かぶロッジ」で、  
本市の観光拠点となっています。



### 海辺の新鮮市場

地元で取れた水産物の直販施設で、漁協  
青年部の直営により、新鮮で安心した魚  
を販売しています。







カキの水揚げ  
出荷の時期になると、早朝、船でカキいかだへと向かい、海中から引き揚げます。



ヒューマンビーチ長瀬  
夏には、たくさんの海水浴客でにぎわう全長400mの人工海浜です。シャワー、更衣室、トイレを完備しています。

## 太陽と遊ぶ HAPPY ホリデー

### 「お気に入り」を探そう

さんさんと降り注ぐ強い日差しが、海面をまぶしいほどに輝かせる……。江田島市には、夏の海を満喫できる「遊び場」がたくさん。

真っ白な砂浜が続く入鹿海岸や、南に向かって広がる長浜海水浴場、整備の行き届いたヒューマンビーチ長瀬など、東西南北にビーチリゾートが点在しています。隠れ家的なビーチもあり、島中に魅力が散らばっています。

また魚釣りや潮干狩り、カキ打ち、マリンスポーツといった体験型のアクティブな遊びも充実しています。

子どもたちのように、太陽と一緒に過ごす、とびっきりの休日。忙しい毎日から心と体を解放して、キラキラした思い出を作りませんか。

## 食は大人の 遊びの一つ

### 味わい深い カキの話

広島県は、言わずと知れたカキどころ。その歴史は古く、養殖を始めて450年とも伝えられています。

中でも江田島市は、むき身の生産量が日本でも一・二を争うカキの本場。実は、カキいかだの数でも日本一なんです。無数のカキいかだが海面に浮かぶ情緒豊かな風景は、見る人を郷愁に誘います。

島を訪れたら、ぜひ本場のカキを味わってみてください。瀬戸の美しい海で育ったカキは、身が引き締まっていて風味豊か、口に入れた瞬間のプリプリした食感がたまりません。

「海のミルク」と称されるほど栄養価も抜群。亜鉛やタウリン、ビタミンB群など、不足しがちな栄養素を豊富に含んでいます。近年は、一年中食べられる新しいタイプのカキ「ひとつぶくん」も誕生しています。

## 「あんばいで 育ちが違う。 そこが面白い」

マルサ・  
やながわ水産有限会社  
代表取締役  
やながわまさのり  
柳川 政憲さん



### カキは言葉を話さない だから自分の目で判断

この海は水質がいい。だから生食に適しているんです。「うま味が強く、あまい」と言われますね。ぜひ生で食べてほしい。カキの養殖はタイミングです。

いかだにつるした後も、海から何度も引き上げ成長を確認し、水深や漁場を変えながら、ベストな状態を保ちます。判断一つで身の育ち方や味が変わるので常に真剣勝負。「手間を惜しまず妥協せず」がポリシーです。いいものを作りたいから、採種に使うホタテの殻の産地まで、徹底的にこだわり抜いています。

おすすめの食べ方は、素材の味が楽しめるカキシヤブです。温めた日本酒に生ガキをサッとくぐらせるだけ。簡単なので試してみてください。



### 入鹿海岸

瀬戸内海の美しい自然に囲まれた砂浜（約500m）には、多くの海水浴客や釣り客が訪れています。



### 長浜海水浴場

長浜は、広島県の海岸環境保全地区に指定され、整備が行われています。長浜海水浴場はその核となるマリンス施設です。



国立江田島青少年交流の家  
学習活動、スポーツ活動、武道活動、野外活動など、教育研修活動で多く利用されている施設です。野外研修に特色があり、無料のキャンプ場も備えています。

<http://etajima.niye.go.jp/>

### 体験型観光

観光吾智網漁 ※1  
期間／5月15日～6月10日



くろ鯛（チヌ）をはじめ鯛、カレイ、皮ハギなどの魚がたくさん取れています。お友達同士で、遊漁の1日（心の休息をおすすめします）。

観光潮干狩（あさり） ※1  
期間／4月～9月



市内2カ所の干潟は、県内有数の貝掘りのメッカとして人気を集めています。

カキ打ち体験 ※1  
期間／11月～4月

一粒カキ出荷体験 ※1  
期間／7月～9月（火・木・週2回）

定置網見学 ※1  
期間／4月～6月

タコ壺・刺網体験 ※1  
期間／4月～6月

海辺の生物観察 ※2  
期間／3月～10月

お問い合わせ先

※1：ふるさと交流館  
☎0823（42）4871

※2：大柿環境館  
☎0823（57）2613





鹿川水源池公園

空気も景色も  
カラダ中でENJOY

自然環境は、島の自慢。海の美しさはもちろん、その魅力は大地にも！雄大なパノラマが望める山頂のビュースポットや緑豊かな公園、さまざまな花の名所など、大自然を満喫できる場所がたくさんあります。

瀬戸内の多島美を楽しみたいなら、砲台山森林公園や陀峯山パノラマ展望台、キャンプやスポーツなら、真道山森林公園、鹿田公園へ。桜のシーズンは江田島公園や約2kmの桜並木が続く桜街道がおすすめです。海上自衛隊第1術科学校には、軍歌で歌われた「同期の桜」の木があります。

見どころ、遊びどころがいっぱい詰まった島の自然で、心も体もまるごとリフレッシュ！

## 自然は最高の おもちゃ箱

山模様



### 真道山森林公園

キャンプ場と音楽広場があります。キャンプ場には、オートキャンプ場とテントサイトがあり、遊歩道から、真道山パノラマ展望台へ行けます。音楽広場には、野外ステージ・録音スタジオ・練習スタジオがあります。4棟あるコテージでは、合宿をしながらスタジオも利用できます。



### 鹿田公園

瀬戸内海の美しい自然に囲まれ、四季を通じて市民の「安らぎの場」となっています。また、近郊の住民や観光客が楽しめる「観光レクリエーション広場」としても親しまれています。



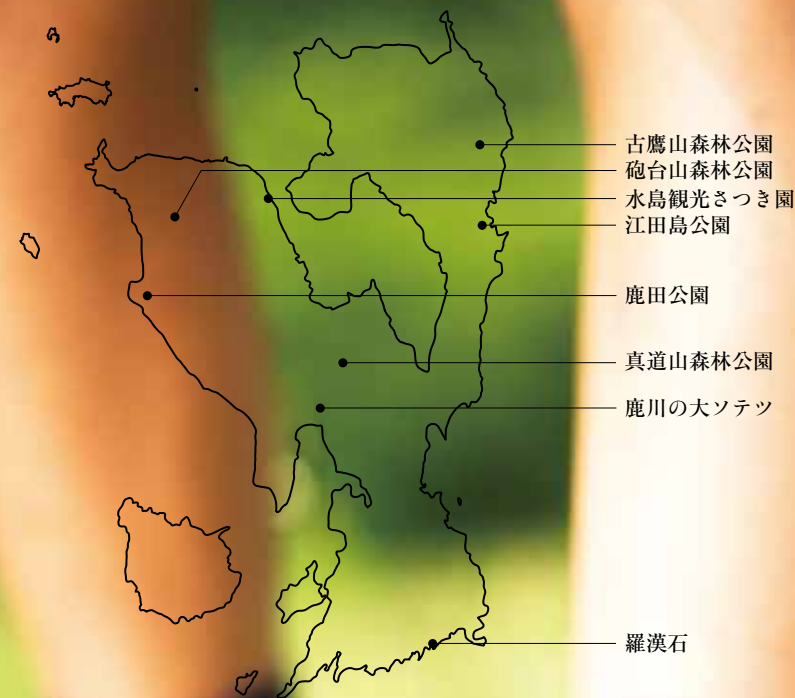
### 砲台山森林公園

瀬戸内海国立公園に属している沖美町は、風光明媚な多島美で知られ、多くの人たちが訪れています。特に山頂に至るまでの眺望は素晴らしく、林道(5.7km)と遊歩道周辺には約90種類もの花木が生育し、野鳥の観察や森林浴が楽しめます。山頂には、明治時代に建築された総面積198,000㎡もの砲台跡が保存されており、近隣には、鶴原砲台跡やがんね鼻砲台跡もあります。平成21年度には、土木学会の選奨土木遺産を受けました。



### 江田島公園

市内各所にある桜の名所の一つです。約150本の桜の中、くつろいで春の一日が楽しめます。また、公園から秋月に至る県道は、桜街道と呼ばれ、まるで桜のトンネルのようです。



# コドモに戻って山歩き





古鷹山森林公園

## 休みの日は 無邪気に ピクニック

### 大人のココロが 癒やされる場所

心地よい花の香りに包まれる春、深緑の中で癒やされる夏、色鮮やかな紅葉に感動する秋、凜とした空気を感ずる冬。四季折々、表情を変える大自然が、訪れる人を温かく迎えてくれる島です。空気の澄んだ山々を、季節の花咲く公園を、ゆつくりのんびり歩くのも江田島市の楽しみ方の一つです。

アクティブ派には、五感をフル稼働させて遊べる体験型観光がピッタリです。旬の恵みをたっぷり堪能できる味覚狩りをはじめ、農業などの産業体験、大自然をステージにしたスポーツ体験など、多彩なアクティビティーがあります。

自然との触れ合いを通して、忘れていた子ども心思い出して。この島で元気をチャージしませんか！

## 甘酸っぱくて なんだか 懐かしい味

### 広島みかんを 丸ごと味わう

瀬戸内の潮風と太陽の日差しを浴びて育った江田島のみかんは、甘くて果汁たっぷり。栽培に適した立地条件と長年の栽培研究のたまものです。古くから今も、日本各地に出荷され、好評を博しています。

実りの季節を迎える10月下旬から、山の斜面は見事なオレンジ色で彩られます。色濃く熟した果実と深緑の葉のコントラストは、目にも鮮やか。見ているだけで楽しくなる風景です。せっかくだから味わいたいという方は、みかん狩りへGO！  
港まで送迎付きの観光みかん園や園内でジンギスカン料理を満喫できる施設もあります。  
自分の手で収穫したフレッシュなみかんは格別です。口の中いっぱい広がる甘酸っぱさを楽しんでみませんか？

## 「手間がかかる からこそ、愛情 もひとしお」



にたん だ はじめ  
二反田 肇さん



丹精込めて作っているからこそ、収穫前の熟したみかんを見るとうれしいですね。

## 体験型観光 みかん狩り

【期間】2月～3月・12月  
江田島のみかんはとっても甘いことで知られています。収穫・肥料やり・草取り作業の体験ができます。



## イチゴのもぎ取り

【期間】3月中旬～5月  
沖美町の特産品の「イチゴ」。品種は『レッドパール』で『アイベリー』とよのかを交配して選抜に選抜を重ねて完成させた品種です。ランナーの摘み取り・枯葉の整理などが体験できます。



## キュウリのもぎ取り

【期間】11月～12月・4月～6月  
トマトのもぎ取り  
【期間】3月～6月

## 花作り農業体験

【期間】12月～3月

## 地鶏の卵拾い 乗馬体験 竹炭作り体験 陶芸体験

【期間】通年

お問い合わせ先  
ふるさと交流館  
☎0823(42)4871

## 一本の木を 育てるのに約5年

みかん作り歴40年。以前は兼業でしたが、今は農業一筋です。みかんの木が実を付けるようになるまで約3年、商品化できるまで約5年の歳月を要します。黒点病などから果実を守るため消毒をしたり、摘果作業をしたりと、一年中、朝から晩まで働いていますよ。一番忙しいのは収穫時期。傷を付けないよう、ハサミで一つ一つ細心の注意を払いながら摘み取るので、時間がかかりますね。土地が急傾斜で一輪車を押すのも大変ですが、毎年近所の方が手伝いに来てくれて、とても助かっています。



# 島の恵み



## 江田島生まれの 海の幸と 山の幸

大自然がはぐくんだ  
島自慢の「ごちそう」たち

四方を海に囲まれた江田島市は、海の幸が豊富です。島を代表する特産品といえば、やはりカキ。近年は、一粒一粒大切に育てられた最高級の江田島カキ「ひとつぶくん」が好評です。ほかに、新鮮な素材を用い、旨みを引き出した、ちりめんやいりこ、お土産にも最適なかきラーメン、いりこみそなど、水産加工品の数々で、瀬戸内の味覚を楽しめます。

温暖な気候に恵まれ、山の幸を満喫できるのも、この島の魅力。太陽の光をたっぷり受けて育った甘いみかんは、「広島みかん」として全国へ。ネーブルオレンジ、デコボン、イチジク……いろいろな果物が栽培されています。みかん羊羹、ネーブルマーマレードなど、愛情と知恵が詰まった加工品も人気です。

海あり、山ありの江田島市には、おいしいものがいっぱい。ぜひ島の恵みを楽しんでください。



地鶏

江田島市では、島の恵みが四季を通して楽しめます。またさまざまな工夫で、その豊かな自然と実りを活用した、ちょっと粋な特産品も誕生しています。お気に入りの一品を島の実りの中から探してみませんか。



イチジクゼリー



ネーブルマーマレード



竹炭



青汁



お酒



キュウリ

### プチヴェール青汁「緑の力」開発者

株式会社クライムONE 代表取締役社長 大勢登正さん

## 仕掛ける島人



に認定されています。試行錯誤を繰り返しながら日々の成長を見守っていると、一本一

本に愛着がわいてきます。子育てのようなやりがいがあります。今では、島内の十数軒の農家で委託生産をしています。江田島市の新たな特産品として定着してほしいですね。

プチヴェール青汁「緑の力」30袋入り 3,465円（消費税込）  
お問い合わせ  
株式会社クライムONE  
☎0823(48) 0019



海の幸と山の幸をはぐくむのは、島の自然と人々の情熱です。島の幸の代表格が、カキとみかん。手塩にかけて育てられた、カキの一粒一粒、みかんの一つ一つが絶品です。島の恵みと人々の思いのこもった特産品をご堪能ください。



カキ



キク



みかん



ちりめん・いりこ



かきラーメン



スイートピー



みかん羊羹





幹部候補生学校（旧海軍兵学校）  
明治21年に東京・築地から移転して以来、幾多の逸材を輩出しました。赤レンガの旧生徒館などが昔日の面影を今に伝えます。



軍艦利根資料館  
太平洋戦争末期、江田島湾奥に避難停泊していた重巡洋艦「利根」は、昭和20年米軍機の襲撃を受け、乗員128名の戦死者を出し、トウガ鼻沖に座礁しました。昭和40年に慰霊碑を建立し、保存会を結成。碑の周囲一帯を「利根公園」とし、昭和62年「軍艦利根資料館」を建設しました。



学びの館  
江田島の歴史と文化を後世に伝える場所として、また市民の体験学習の場として建てられました。館の外は、江田島の四季の美しさを凝縮した公園となっており、訪れる人の憩いの場として利用されています。

—— 伝承を巡り歩こう ——

貴重な文化財や歴史の息吹を感じさせる史跡は、江田島の大切な財産です。中でも幹部候補生学校（旧海軍兵学校）は、通称「赤レンガ」と呼ばれ、全国的に知られています。設計はその名を馳せたイギリス人建築家ジョン・ダイアック。明治26年、生徒の教育施設として建築されました。構内にある教育参考館には、旧海軍関係の資料など約1200点が展示されています。

島内には、太平洋戦争末期に多くの戦死者を出して座礁した重巡洋艦利根の資料館や、江田島の歴史や文化を伝える学びの館など、歴史を肌で感じる学べる施設が点在します。

歴史模様

歴史に触れるも  
楽しみの一つ



島の歴史と偉人

歴史を巡って  
島に親しむ





# 島の偉人



「国宝・世界遺産を守った漆芸作家」

## 六角紫水

Rokkaku Shisui

研究。1904年には、岡倉天心、横山大観らと渡米。ポストン、メトロポリタン美術館で東洋美術品の整理に従事しました。朝鮮の楽浪古墳出土漆器の研究にも携わり、後に、『東洋漆工史』を記しています。

1924年、母校の教授に就任。子弟の教育指導に当たりながら研究、制作活動を続け、パリ万国博覧会で大賞碑、第十一回帝展で帝国美術院賞を受賞。帝国芸術院会員などを歴任し、

### 江田島市から世界へ

1867年3月20日、大柿町大原に藤岡半右衛門の長男として誕生。幼名は忠太郎。1883年、広島師範学校卒業。当地で教員を勤めた後に上京し、東京美術学校に第一期生として入学。漆工を専攻。卒業後、六角家の養子となり、雅号を紫水としました。

東京美術学校助教授に就任し、岡倉天心と国内の古美術を

### 砲台山森林公園

砲台跡を散策しながら森林浴が楽しめます。内海の島々が一望できます。また、遊歩道には四季を通じて楽しめる花木90種類が生育しています。

### 平大臣跡

平大臣跡。平家忠朝の墓。平家忠朝は、平家忠朝の墓。平家忠朝は、平家忠朝の墓。



### 鈴木三重吉文学碑

旧下田屋敷跡の碑に刻まれている「親のそばでは泣くにも泣けぬ沖の小島へ行って泣く」は、能美島滞在中の三重吉の心境を友人に書き送った手紙の一節です。

## 歴史と共に 風光明媚も 体感する

### 自然に溶け込んだ 島の来歴

数百年以上の歴史を誇る江田島八幡宮や、海岸に建つ入鹿明神社、明治時代に砲台山山頂に築造された砲台跡……。荘厳な社寺仏閣や史跡が大自然と調和する姿は、見る人の心を魅了してやみません。陀峯山の羅漢石や平大臣跡など、平家伝説にまつわる史跡も豊かな自然に抱かれています。

また江田島市は、漆工芸界の先駆者である六角紫水、元衆議院議長の高尾弘吉を筆頭に、多くの偉人・文人を輩出してきました。先人の足跡や人柄を示す作品や手紙、愛読書などを公開する歴史資料館は、一見の価値があります。

悠久の刻に思いをはせながら、さまざまなエピソードを持つ歴史遺産を巡ってみては？きつと何かを得られますよ。

### 日本の漆工史に輝かしい足跡を残しました。 伝統文化保護のため 日本全国を奔走

生涯をかけて、美術工芸の継承と発展、後進の育成、文化財の調査保護などに貢献し、漆工界の第一人者といわれた六角紫水。中でも特筆するべき業績は、日本の伝統的文化財が存続の危機に直面した近代において、これらを調査するため全国を駆け巡り、中尊寺金色堂（国宝）や厳島神社社殿（世界遺産）、古社寺文化財の修繕、保護を推進したことでしょう。現存する国宝や世界遺産の中に、紫水の偉業がしっかりと息づいています。

### キリンビールのラベル 「麒麟」デザイン伝説

その多彩な才能が垣間見える「エピソード」を……。キリンビールのラベルデザインは、1888年の発売当時、真っ赤な太陽の前を小さなキリンが走っているものでした。それでは分かりにくいとの声を受け、現在のラベルの原型となる麒麟の図柄を考案したのが、紫水と伝えられています。



### 六角紫水の碑

六角紫水先生の業績を後世に伝えるため、生家の跡地に顕彰碑が建立されています。



「六角紫水デザイン麒麟ビール瓶」  
昭和8年4月1日～  
昭和18年製造  
大柿地区歴史資料館



「彩漆杜若の図」  
明治34年  
大柿地区歴史資料館



### 大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）

漆工芸界の先駆者「六角紫水」の足跡と人柄を示す作品、すずり箱、手紙などの展示や、元衆議院議長灘尾弘吉が所蔵愛読になった書籍を広く公開しています。





かき（花卉）カキ（牡蠣）マラソン

花の町と海の養殖カキの産地にちなんだイベントです。殻つきカキの食べ放題や地元生産者による格安の「ふるさと特産品」販売は好評を博しています。

□3月上旬／沖美町



水島観光さつき園 さつき祭り

毎年5月の連休には、さつきが咲き乱れる中、「さつき祭り」が行われます。

□5月初旬／能美町



桜街道

桜の名所である樹齢40年の桜並木は、4月初旬200ものちょうちんでライトアップされ、見る人の目を楽しませます。

□4月初旬／江田島町



管弦祭舟流し（おかげんさん）

厳島神社の管弦祭に由来した祭。麦わらで作った舟に子どもたちが色紙などで飾りをつけ、ろうそくの灯をともして海に浮かべます。

□7月中旬／江田島町



島ひきおにイベント

大柿町ゆかりの児童文学作家、山下明生さんの「島ひきおに」の舞台になった場所でヨット体験航海、カヌー教室を開催します。

□8月初旬／大柿町



おきみ水軍フェスタ

水軍和太鼓の演奏、合戦絵巻の再現に、打ち上げ花火も見られます。また当日は、もちまき大会や地元商工会などによる夜店も出店します。

□8月下旬／沖美町



サマーフェスタ

江田島湾で1500発の打ち上げ花火が見られます。会場の海上自衛隊第1術科学校（旧海軍兵学校）は、盆踊り・夜店でにぎわいます。

□8月上旬／江田島町



大柿町納涼まつり

夕方から行われる納涼イベントです。会場には出店などがあり、夕すみに多数の人が訪れます。

□7月下旬／大柿町



魅力的な  
人々が  
奏でる一年

島でしか味わえない  
体験の数々

一年を通して、季節を彩るイベントが開催されています。特に盛夏の7月から8月にかけては、島ならではの個性あふれる祭り、行事がめじろ押し。

海に囲まれた絶好のロケーションを生かして、水上花火が打ち上げられるサマーフェスタは、島外からも多くの人が訪れる人気の夏祭りです。厳島神社の管弦祭に由来したおかげんさんは、古くから受け継がれてきた伝統行事で、ろうそくの火をともした麦わらの舟が川面を漂う様が幻想的です。水軍和太鼓の演奏や合戦絵巻が再現されるおきみ水軍フェスタも、夏の風物詩になっています。

島を楽しむ人たち

楽しみは  
一年中  
—島の歳時記—



その他のイベント

公民館まつり

〔期間〕3月初旬

〔会場〕江田島町・能美町・沖美町・大柿町

盆踊り

〔期間〕8月14日～16日

〔会場〕各町内各地区







## 島の歳時記―冬

### カキ祭

国内有数の水揚げ量を誇り、毎年2月初旬ころにはカキ祭が開催されます。会場では殻付きカキの試食、販売などがあり、多数の人でにぎわいます。

□1月下旬～2月初旬／江田島町



### 江田島市駅伝

市内外から参加した各チームが健脚を競います。

□2月下旬／能美町・大柿町



## 島の歳時記―秋

### 神社秋祭り

市内の神社では秋になると豊作を願い、ダイバ・オタフク・獅子舞などの神楽囃子が奉納されます。

□9月下旬

### ヒロシマMIKANマラソン

健康マラソンとして気軽に走れる種目や、日本陸連公認コースを使ったハーフマラソン種目もあります。豪華景品が当たる抽選会や特産品が展示販売される産業祭りも開催されます。

□10月下旬／大柿町

### 市美展

広く江田島市民から美術作品を公募し、優れた作品を展示します。小学生から一般の方まで、たくさんの作品を集め、創作活動の振興や芸術文化の向上を図っています。

□11月上旬／能美町



### フェスティバル江田島

「国立江田島青少年交流の家」で毎年行われ、スポーツ大会やステージショー、特産品の販売など催し物がもりだくさん。大勢の来場者でにぎわいます。

□未定／江田島町

### 江田島まるごとフェア

江田島市内の特産物の販売や、ゲストを招いてステージショーなどが行われる産業祭りです。女性会などの市内のグループなども軽食や産物などを出店し、祭りに彩りを添えます。

□11月初旬／能美町

## 四季を通して 一年中 楽しめる

### 江田島市を 丸ごと満喫しよう

春は桜が咲き誇り、日が暮れると、ちようちん明かりの下で夜桜も満喫できます。また5月には色とりどりのさつき約1万株が咲き誇る観光さつき祭りも、連日多くの花見客でにぎわいます。

秋には、ステージイベントや特産品販売が行われるフェスティバル江田島や江田島まるごとフェアが開催されます。

島の冬の味覚の代表格カキを味わいたいなら、江田島市カキ祭へ。旬の新鮮なカキを使った料理が好評です。

例年、秋と冬に開催されるマラソンや駅伝大会には、市内外から多数の参加者があり、日ごの成果を競います。市民の協力によって盛り上げられる、エネルギーなイベントが多いのも、江田島市の特長です。

### おかげんさん祭り実行委員会 会長 有限会社しもかわ 代表取締役 下川 勝彦さん

## 仕掛ける島人

### 世代を超えて地域が 一つになる伝統行事

おかげんさん祭りとは、厳島神社の管弦祭に由来した祭りです。色紙などで飾り付けた麦わら舟にろうそくの火をともし、江田島町切串地区を流れる長谷川に浮かべます。一説によると、管弦祭の夜に島の子どもたちが、麦わら舟に火をつけ海に流して祭りを祝ったとのこと。この伝統行事を復活・継続させようと実行委員会を立ち上げ、平成21年で37年目を迎えました。

祭りの準備は、舟の材料となる麦作りから始まります。子どもたちが秋に種まきをし、翌年の6月ごろ収穫。地域の方と一緒に育てた麦を使って、お年寄りの方に教わりながら舟をつくります。世代を超えた交流は、貴重な体験になっています。

祭り当日は、川面を漂う麦わら舟の灯で町中が幻想的な雰囲気。メイン会場では、歌や大正琴の発表会や出店もありにぎやかです。

地域が一体となり、つくり上げる大切な伝統行事。ずっと続けていきたいですね。



お問い合わせ  
おかげんさん実行委員会  
☎0823(43)0668



### その他のイベント

八幡神社例大祭  
[期間／9月下旬]  
[会場／江田島町・能美町]

新宮八幡宮例大祭  
[期間／9月下旬]  
[会場／大柿町]

観光みかん狩り  
[期間／10月上旬～12月上旬]  
[会場／江田島町・能美町]

えびす祭(豊漁祭)  
[期間／11月中旬]  
[会場／江田島町・能美町・大柿町]



## 島暮らしのススめ

江田島市へUターン・Uターンした皆さんが、移住のきっかけや暮らし始めてからの感想、島の魅力や改善点などを市長と一緒に語り合いました。



―移住を決めた理由と暮らし始めてから

**児玉さん** 広島市の中心部に住んでいましたが、田舎で子どもを育てたいと思い、移住を決意しました。当初は農業を専業で考えていましたが、現実的には難しいため、今は別の仕事をしながら農業をしています。以前は仕事が忙しく、子どもと接する時間がほとんどありませんでした。移住してからは仕事量もセーブし、妻と協力しながら、できるだけ子どもと一緒に過ごすようにしています。ここに来るまでは、私も子どもも草刈り

一つしたことがない状態。苗を植えたり水やりをしたり、一緒に作業をしながら学べることは、子どもにとってもプラスになっていると思います。

**仁科さん** 結婚を機に栃木県の農業高校の教師を辞め、夫婦で江田島市に移り住みました。海の近く

## 子育てには最高の環境

で自然と共存できる暮らしがしたいくて、全国各地を見て歩いた結果、この島が一番気に入りました。広島県内に主人の実家があるのも理由の一つですね。現在、平日の午後は児童館に勤務、午前中は家で

## 夫婦二人で

## スローライフを満喫

畑仕事や近所のスイートピー農家のお手伝いをしています。教育に

市としても大変助かっています。自然が多く遊ぶ場所がいくらでもある。子育てにはベストな条件がそろっていると思います。

ルディーズバンドの生ライブを楽しみイベントを開催し、移住者や移住を考えている方、地元の方の交流の場となっています。

## ―江田島市の魅力

**仁科さん** 近所の方に、すごく良くしてもらっています。引越しの時には、軽トラックを貸してくださったり、生活習慣を説明してくださったり、まるで子どもや孫に接するように、温かく受け入れていただきました。

**児玉さん** 島に来てから、畑で取れたものとスーパーで買ったもので、野菜の味が違うことに気が付きました。子どもたちも、嫌いな野菜の種類が減りました。自分の手で収穫した野菜や釣った魚を食べる貴重な体験ができるのは、大きな魅力。また治安が良く車も少ないので、安心して外で子どもだけを遊ばせることができます。

**田中市長** 地域を自分たちの手で守ろうという意識が強いんです。特に高齢者の皆さんは、組織を作り、さまざまな活動をされていて、

携われるし、大好きな農業の勉強もできるので、充実した毎日を送っています。

**鎌田さん** 私の場合、仕事をしている間は都会でいいけれど、リタイア後は島に帰って暮らすと人生プランを決めていました。田舎は病院も店も遠い。だから体を動かす。そうすれば病気になるという持論でしたから。実は二十数年前に当時家を建て替えるようにして土地を購入していたんです。今は、新居で畑いじりをしながら、のんびりと暮らしています。

**児玉晃一** Kouichi Kodama

広島市出身。大柿町在住。平成19年、自然の中で子育てをしたいの思いから、広島市より家族5人でUターン。仕事、農業、子育てに奮闘中。

**鎌田健二** Kenji Kamada

江田島市出身。江田島町在住。関東などでの都会生活を経て、平成21年、定年に伴いUターン。夫婦で田舎暮らしを満喫している。

**仁科彩子** Ayaka Nishina

栃木県出身。沖美町在住。平成20年、結婚を機に栃木県より夫婦でUターン。現在は、児童館に勤務しながら、果樹や花作りを勉強している。

**清水昭彦** Akiko Shimizu

山口県出身。沖美町在住。平成17年、広島市より夫婦でUターン。田舎暮らしを楽しむ会長として、島のPR活動や移住相談を行っている。

**田中達美** Tatsumi Tanaka

江田島市出身。大柿町在住。昭和58年大柿町議会議員に初就任。その後江田島市議会議長などを経て、平成20年より江田島市長。

をいかに守るかは、重要な課題です。若い方には、雇用の創出が必要ですね。江田島市には、大きな産業が少なく非常に難しい問題で

**清水さん** 妻の病気をきっかけに、質素でもいいから健康的な暮らしを！と移住を考えるようになり、全国いろいろな場所を調べました。最終的には灯台もと暗し、江田島市を選びました。趣味である釣りのポイントの多さも決め手になりましたね。いろいろなことは経験したつもりでしたが、島に来てからは、初めての連続。それが面白くて新しいことに挑戦する。情熱を持って活動することが、元気の源になっています。

―移住する際に利用した、江田島市の制度

**仁科さん** 移住を決める前に、市役所の交流定住促進室に相談に行ったところ、おためし暮らし制度を知り、1カ月間利用しました。その間に市の空き家バンクに登録してある物件を見て回り、今の家に住むことに。できたばかりの制度で、私たちが第1号だったそうですよ。

**鎌田さん** 家を建てる際、定住促進事業補助金制度を利用しました。定住を目的に江田島市へ新規転入し、住宅を新築・購入する場合に、市が費用の一部を助成するという制度です。

―移住者間の交流は？

**清水さん** 「田舎暮らしを楽しもう

すが、真剣に取り組まなければならぬ」と痛感しています。

## 仕事も趣味も両立

**清水さん** 江田島市を活性化するには、若い方の力が不可欠です。流出を防ぎ、新たな住人を迎えられるには、仕事が必要。若者の起業をサポートする、農業や漁業、観光など島の利を生かした雇用を確保する提言を行ってほしいと思います。やる気のある若者にとって、島には夢があると思います。

## この島の夕日は日本一

**鎌田さん** 農業をしたい方が、すぐに土地を借りられるような制度を行政に作ってほしいですね。

**仁科さん** 私もどこで土地を借りられるのか分からない方が多いと感じるので、農地バンクのようなものがあればと思います。遊休農地や果樹園と農業をしたい方をつなぐコーディネートが必要ではないでしょうか。

**児玉さん** 農業を始めるには、農地以外にも農機や道具などが必要で、初期投資の費用が予想以上に高くなります。レンタル制度があればと感じています。

**清水さん** 空き家の確保が、近々の課題ではないでしょうか。現在、



江田島市の都市像（将来像）

自然との共生・

都市との交流による

「海生交流都市」

えたじま



まちづくりの基本理念

江田島市総合計画の都市像（将来像）は、「新市建設計画」の将来像を継承し、「自然との共生・都市との交流による『海生交流都市』えたじま」としています。

『海生交流都市』とは、自然（海・島）とともに生き、自然にはぐくまれ形づくられた歴史や文化を大切にしながら、多彩な交流を生み出し、まちの「住みよさ、美しさ、元気」を高め、江田島市の個性と魅力を育てていくことを意図するものです。

都市像を支える3つの基本テーマ

都市像を支え、その具体化を方向づける基本テーマとして、「安全・安心と快適環境の『住みよさづくり』」、「海と島と歴史文化が彩る『美しさづくり』」、「人と地域が輝く『元気づくり』」を設定しています。

1 安全・安心と快適環境の「住みよさづくり」

保健・医療・福祉や防災・

防犯、生活交通などの充実により、暮らしの基本である安全・安心を確保するとともに、下水道や公園などの生活環境の整ったまちを目指します。

2 海と島と歴史文化が彩る「美しさづくり」

海と島と歴史文化、伝統を大切にすることで、自然と人々の営みが共生する美しさと魅力を持ったまちを目指します。

3 人と地域が輝く「元気づくり」

充実した教育文化、参加と協働のまちづくり、産業の活性化などを通じて、現在を支え、次代を担う人が育ち、活力あるまちを目指します。



江田島市の目指す都市構造



**海と島の交流・レクリエーションゾーン**  
海と島の自然を生かしながら、自然観察や探勝の場・ルート、海水浴場、マリナー、宿泊・滞在の場など、江田島市の魅力づくりと交流人口の拡大を目指すゾーン。

**緑と眺望の交流・レクリエーションゾーン**  
山岳の自然と眺望を生かしながら、登山道や展望台、森林公園など、江田島市の魅力づくりと交流人口の拡大を目指すゾーン。

**産業中心ゾーン**  
自然環境との調和や循環型社会への対応を促進するとともに、工業と農業、観光・レクリエーションが共存するゾーン。

**国立公園ゾーン**  
環境保護を図りながら、自然との対話の場、学習の場としての活用に努めるゾーン。

**海の環境と資源の保全・活用ゾーン**  
自然環境や漁業生産等の多様な側面から、その環境と資源の保全・活用に努めるゾーン。

**陸の交流ネットワーク軸**  
道路交通ネットワークの強化・充実を図るとともに、道路及び沿道の景観づくり、適切な機能配置などに取り組みます。

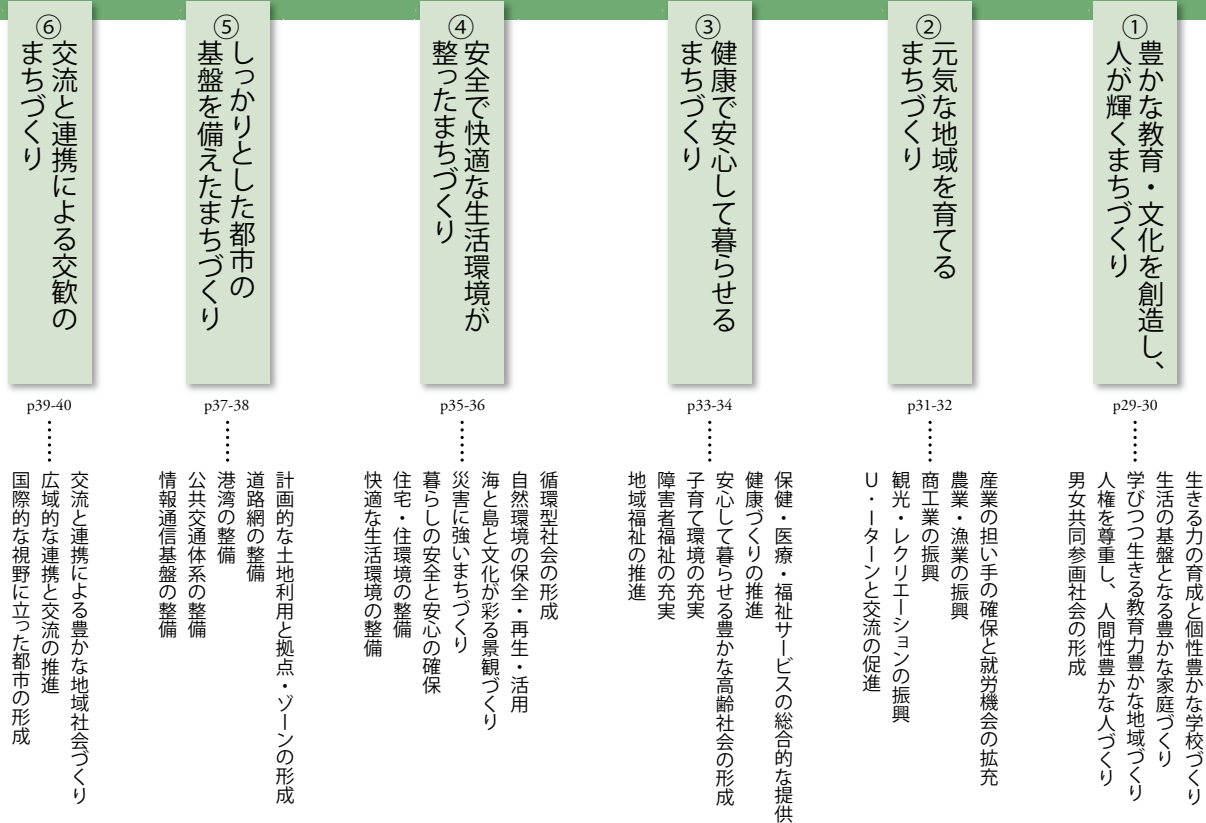
**海の交流ネットワーク軸**  
市民生活の基盤である広島市や呉市をつなぐ海上交通の整備・充実を図るとともに、瀬戸内海地域としての広域的な海上交通や新たな航路について検討します。

将来像 自然との共生・都市との交流による『海生交流都市』えたじま

3つの基本テーマ

人と地域が輝く「元気づくり」 海と島と歴史文化が彩る「美しさづくり」 安全・安心と快適環境の「住みよさづくり」

まちづくりの展開（部門別施策の方向）







# 豊かな 教育・文化を創造し、 人が輝くまちづくり

まちづくりの展開方向  
1

島が持つ自然、歴史、文化等を貴重な教育資源として活用し、一人一人が郷土を愛し世界に羽ばたくための個性豊かな教育を創造します。

## 生きる力の育成と 個性豊かな学校づくり

生涯にわたる人間形成の基礎をつくるため、生きる力である「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく向上させます。  
また、学校・家庭・地域の連携を推進し、信頼される学校づくりを目指すとともに、教育環境の整備・充実に取り組みます。



## 生活の基盤となる 豊かな家庭づくり

教育の原点である家庭教育を支援するため、学習機会の設定、情報の発信や相談体制等の充実を図ります。

## 学びつつ生きる 教育力豊かな地域づくり

市民一人一人が、いきいきと暮らせるよう、市民のさまざまな学習ニーズに対応した文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動の場や機会を提供します。

## 人権を尊重し、 人間性豊かな人づくり

誰もが住んで良かったと思えるまちづくりを実現していくため、人権を尊重した人間性豊かな人づくりを目指します。

## 男女共同参画社会の形成

男女平等の理念に基づいた意識改革と啓発に取り組みながら、男女が共同して職業と家庭生活を両立できる条件整備を進め、男女がともに参画できる環境づくりに努めます。



ベジフル教室



茶道教室



スポーツ少年団



鹿川小学校



江田島図書館





# 元気な地域を 育てるまちづくり

まちづくりの展開方向

江田島市の地域資源や潜在力を引き出しながら、  
元気な地域を育て、豊かな暮らしを生み出すまちづくりを目指します。

## 産業の担い手の確保と 就労機会の拡充

産業の担い手・後継者のネットワークづくりを  
図り、連携・交流を進め、新たな担い手の確保に  
努めます。

また、関係機関と連携して、就労機会の拡充、  
能力開発、就労条件等の向上を促進します。

## 農業・漁業の振興

農業の振興については、広島市や呉市との近接  
性を生かし、果樹（フルーツ、花き（フラワー）  
の高品質化とブランド化を促進します。

また、農業体験やグリーン・ツーリズムを推進  
し、インターネットの活用等を通じて情報の受発  
信と交流・販路の拡大を促進します。

漁業の振興については、漁場環境の保全や漁業  
資源の増殖、漁業経営の育成、生産基盤の整備、  
生活環境の整備、担い手の育成などに取り組みな  
がら、つくり育てる栽培漁業の振興に努めます。

さらに農業・漁業・観光などで連携を図り3F  
（フルーツ、フラワー、フィッシュ）の島づくりを  
目指します。

## 商工業の振興

工業の振興については、事業所を都市の活力や  
魅力を生み出す産業基盤としていくため、中小企  
業の経営の安定と高度化を支援するとともに都市  
基盤を整備し、地場産業の振興や起業の促進に努  
めます。

また、商業の振興については、商店街の活性化  
や市民の消費生活の利便性を高めるため、地域の  
実情を踏まえた商業機能の維持・充実を支援しま  
す。

## 観光・レクリエーションの振興

自然や歴史文化、農業、漁業などを観光・レク  
リエーション資源としてとらえ、新たな資源の創  
出や既存の観光施設などの魅力づくりを進め、市  
の資源全体の活用を目指します。

また、特色ある食や特産品づくり、3F（フル  
ーツ、フラワー、フィッシュ）の島づくり、グリーン・  
ツーリズムの推進に努めます。

## U・Iターンと交流の促進

情報の受発信や産業振興及び就業の場の確保、  
住まいの確保、生活環境や教育、子育て環境の整  
備・充実、交通ネットワークの強化など総合的な  
施策の展開を図ります。

また、交流人口の増大に向けた取組を地域ぐる  
みで進め、リピーターを増やすことにより、二地  
域居住や定住につながるよう努めます。



ふるさと交流館



海辺の新鮮市場



交流促進センターさくら



カキ



キク



みかん





# 健康で安心して暮らせるまちづくり

すべての市民が、家庭や地域で生きがいを感じながら、健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

## 保健・医療・福祉サービスの総合的な提供

地域の連携・協力体制を強化し、保健・医療・福祉の総合的なサービスの提供を図ります。  
また、保健師等の専門的な人材の確保に努めるとともに、関係機関との連携を図り、福祉サービスを支えるボランティアの確保・養成に努めます。

## 健康づくりの推進

市民の健康づくりに対する意識の高揚と実践を促進するため、情報の提供や普及啓発活動の推進、相談・指導体制の充実、健康増進施設等の整備・充実に努めます。  
また、個々の状況に応じた保健サービスの提供や適切な医療サービスが受けられるよう、関係機関との連携を図るとともに、救急医療や高度先端医療への対応に取り組みます。

## 安心して暮らせる豊かな高齢社会の形成

高齢者が安心して暮らせるよう、サービス基盤の整備や質的向上を図るとともに、保健・医療・福祉の連携を強化して、総合的な介護サービスの提供を進めます。  
また、地域包括支援センターを核とした地域支援事業や高齢者の社会参加の促進、安心して行動できる環境整備を促進します。

## 子育て環境の充実

安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長し、生きる力を育んでいけるよう環境づくりを進めます。  
また、子育て家庭を支援していくため、地域における子育て機能の再構築に取り組み、子どもを安心して産み育てられるまちづくりを進めます。

## 障害者福祉の充実

障害のある人が、障害のない人と同様に、住み慣れた地域で安心して暮らし、いきいきと活動できるよう、在宅福祉サービスの充実や社会生活を送る上での障壁の解消に努めます。  
また、障害のある人が自ら必要とするサービスを自由に選択し利用できるよう、サービス基盤の整備・充実に努めるとともに、社会参加や雇用の促進、教育の充実に努めます。

## 地域福祉の推進

市民や福祉にかかわる事業者、団体等が相互に協力し、地域ぐるみで福祉に取り組む仕組みの強化やボランティアの確保・養成など地域福祉の形成を進めます。



にこにこひろば



医療サービス



100歳表彰

## 子育て支援センター

「子どもを安心して産み育てられるまちづくり」を目指し、平成20年に設置されました。子育て支援事業・子育て相談・育児相談・育児サークル・ボランティアの育成など、子育てに関する支援を行っています。愛称は「にこにこハウス」。



お問い合わせ  
江田島市福祉保健部  
子育て支援センター  
☎0823(42)2852





# 安全で快適な 生活環境が整った まちづくり

まちづくりの展開方向

地域への愛着を持って、安心して快適に、  
うるおいを感じながら暮らせる  
まちづくりを目指します。

## 循環型社会の形成

循環型社会を形成するため、地域ぐるみで、  
ごみの減量化やリサイクル、ごみの不法投棄防  
止への取組を進め、環境に対する意識啓発に努  
めます。

## 自然環境の保全・再生・活用

豊かな海を守り、育てていくため、海域環境  
の浄化や海岸保全を進めます。また、荒廃農地  
の修景や森林・緑づくりに努めます。

## 海と島と文化が彩る景観づくり

海と島と緑の美しさや、歴史的な建造物を生  
かした景観づくりをはじめ、景観面からの市の  
顔づくりやイメージづくりを進めます。

## 災害に強いまちづくり

災害の未然防止や火災予防、消火・救急体制  
の整備・充実に計画的に進めます。また、自主  
防災組織などの育成により、地域ぐるみの防災  
体制を強化します。加えて、国民保護法に基づ  
き、国・県等と連携し、市民の生命、身体と財  
産を保護するための対策を講じます。

## 暮らしの安全と安心の確保

交通安全を推進し、犯罪のない社会を形成す  
るため、地域団体などと連携した活動に努めま  
す。

また、消費生活の安全に努めるとともに、有  
害化学物質などによる健康被害の防止に努めま  
す。

## 住宅・住環境の整備

市営住宅の建て替えや住宅・宅地の供給など  
により、快適な住環境づくりと合わせ、定住や  
U・Iターンを促進します。

## 快適な生活環境の整備

快適な生活環境を整備するため、上下水道の  
整備・更新などにより、安全でおいしい水の安  
定供給や公共用水域の保全などに努めます。  
また、公園緑地の整備により、市民生活のう  
るおいや防災機能の確保に努めます。



公園



市営住宅



交通安全教室



海上自衛隊第1術科学校



下水道事業





# しっかりとした 都市の基盤を備えた まちづくり

井さへんの展開方向

江田島市の特色や実情を踏まえた、計画的な土地利用を図るとともに、道路や港湾、交通網、情報通信基盤の整備を進めます。

## 計画的な土地利用と 拠点・ゾーンの形成

都市的土地利用と自然的土地利用が調和した、江田島市の均衡ある発展を図るため、計画的な土地利用を推進します。  
さらに、拠点ゾーン等をつなぐ道路交通ネットワークの強化を行い、交流ネットワーク軸の形成に努めます。

## 道路網の整備

道路交通ネットワークを強化するため、架橋構想実現に向けて取り組み、国道・主要地方道等の整備を促進します。  
また、身近な生活道路の利便性や安全性などの向上に努めます。

## 港湾の整備

江田島市の玄関口となる港湾の整備の促進や、各港の役割を明確にした効率化を図り、市民生活の利便性を高めるとともに、交流の拠点としての機能向上に努めます。



## 公共交通体系の整備

市民の身近な交通手段としての利便性を高め、定住条件の向上を図るため、海上交通と陸上交通の円滑な接続を図り、一体性のある公共交通体系の確保に努めます。また、地域の実情に応じた交通サービスについて検討します。

## 情報通信基盤の整備

高度情報化に対応するため、高速大容量の情報通信基盤の整備を促進します。  
また、市民生活の利便性や安心感を高めるため、電子市役所の構築や情報公開に努めるとともに、個人情報の保護やセキュリティ対策などに適切に対処します。



江田島市ホームページ



海上交通



港湾事業



一般県道石風呂切串線



しおかぜの丘





# 交流と 連携による交歓の まちづくり

まちづくりの展開方向

市民が支え合う

地域社会の形成を図るとともに、広域的な連携や交流を推進するため、多様な交流と、都市・地域間のしつかりとした連携により、人々が集い、ともに楽しみ、喜び合う、躍動感あるまちづくりを目指します。

交流と連携による  
豊かな地域社会づくり

地域の特色や個性を大切にしながら、市民のコミュニティ活動への関心を高め、コミュニティ・リーダーの養成や自治組織の育成などに取り組みとともに、江田島市の一体感の醸成と連携し支え合う地域社会づくりに努めます。

広域的な連携と交流の推進

広島市や呉市などと連携し、広域的な役割分担と相互補完の考えに基づいた取組を進めていきます。

また、江田島市の自然、歴史・文化、交流機能を生かし、交流人口の増加と地域間交流の拡大を図ります。

国際的な視野に立った都市の形成

交流人口の増大と合わせ、江田島市のアピールやイメージアップに努めます。

また、市民の国際感覚やホスピタリティの醸成を図ります。



ヒロシマ MIKAN マラソン



フェスティバル 江田島



大柿納涼まつり



カキ祭



文化団体交流発表大会



江田島市の歩み

| 江田島町                                                                                                                                                                   | 能美町                                                                                                                                             | 沖美町                                                                                        | 大柿町                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 町制施行、江田島広報創刊号を発刊する<br>第1回江田島町文化祭を開催する<br>大原く幸ノ浦間道路が完成する                                                                                                                | 高田村・中村・鹿川町が合併して能美町となる<br>鋼製旅客船「能美丸」が進水する                                                                                                        | 沖美町誕生<br>三高簡易水道を開設する<br>美能簡易水道を開設する<br>美能間県道が完成する<br>是長く三高間バスが開通する                         | 大柿町・深江村・飛渡瀬村を合併して、新・大柿町誕生（11月3日）<br>「大柿町史」を刊行する<br>大柿町制施行（8月1日）<br>乗合バスが営業開始（柿浦・中村間）する                                                |
| 江田島町消防団を発足する<br>津久茂線バスが開通する<br>米軍江田島キャンプ跡に海上自衛隊術科学校が横須賀より移転する<br>津久茂、幸ノ浦、大須への電話が開通する                                                                                   | 江田島地区病院を開設する<br>小用く秋月間道路が完成、バスが開通する<br>切串簡易水道事業を開始する<br>町内1周道路小用く切串が完成する<br>小用く切串間バスが開通する<br>江田島町立図書館が運営開始する<br>江能上水道組合が誕生する                    | 江能上水道送水を開始する<br>二高く字品間にカーフェリーが就航する<br>能美3町共同火葬場使用を開始する<br>能美3町共同火葬場使用を開始する<br>江能上水道送水を開始する | 大柿中学校と深江中学校を統合し、新しく大柿中学校とする<br>役場新庁舎完成、開庁する<br>第1回町民大運動会を開催する<br>大柿町商工会を設立する<br>柿浦棧橋が完成する                                             |
| 江南く大柿町飛渡瀬を結ぶ直線道路が開通する<br>小用港広場および県道拡張工事が完成する<br>秋月棧橋（県管理港）が完成する<br>江能上水道通水式                                                                                            | 鈴木三重吉文学碑を建立する<br>能美3町の火葬場組合を設立する<br>鋼製フェリーボート「第5のうみ」が運航をはじめめる<br>大柿高校中村分校が廃止になる<br>能美3町共同火葬場使用を開始する<br>太田川から江能地区上水道の送水が開始される<br>軍艦「利根」の慰霊碑を建立する | 二高く字品間にカーフェリーが就航する<br>能美3町共同火葬場使用を開始する<br>能美3町共同火葬場使用を開始する<br>江能上水道送水を開始する                 | 大柿高等学校大君分校新校舎が完成する<br>太田川用水・江能水道が通水する<br>第1回大柿町美術展を開催する                                                                               |
| 国立江田島青年の家が開所する<br>小学校3校（江田島、鷺部、江南）を統合し、                                                                                                                                | 国民宿舎「能美海上ロッジ」ができる<br>江能選果場を建設する                                                                                                                 | 沖美町公民館を設置する<br>沖美町役場が完成する<br>「鯉城」沖字品航路に就航する<br>三高会館が完成する                                   | 電話の市外通話が即時となる<br>陀峰山開発道路が開通する                                                                                                         |
| 江田島小学校とする<br>小用港フェリー施設および棧橋前広場が使用開始される                                                                                                                                 | 能美電報電話局ができ、電話がダイヤル式となる<br>江能准看護学院を開校する（旧中町中学校舎）                                                                                                 | 沖美町全域の電話ダイヤル化になる                                                                           | 早瀬大橋起工式を挙行する<br>電話がダイヤル式となる                                                                                                           |
| 海上自衛隊少年術科学校が開校する<br>ゴミ焼却場が落成（秋月）する<br>大須簡易水道が完成、給水開始する<br>江田島観光みかん組合を結成する<br>県立三津田高等学校江田島分校が県立江田島高等学校として独立発足する<br>小用く広島間高速艇が就航する<br>江能広域行政事務組合を設立する<br>江能広域消防本部庁舎が完成する | 新鋭高速艇「千鳥」が運航をはじめめる<br>江能広域市町村圏振興協議会ができる<br>江能広域行政事務組合を設立する<br>江能広域消防本部鹿川出張所が完成する                                                                | 金属工業団地一部操業を開始する<br>高速艇「千鳥」三高字品航路に就航する<br>江能広域行政事務組合を設立する                                   | 沖野島農道橋が完成する<br>江能広域市町村圏振興協議会を設置する<br>第1回陀峰山頂初日マラソンを開催する<br>江能広域行政事務組合を設立する<br>灘尾文庫を開設する<br>町章・町旗を制定する<br>町の木・町の花をさめる<br>飛渡瀬老人集会所を新築する |
| 江田島町民憲章を制定する<br>江能広域清掃センターが完成する<br>江田島町章を制定する<br>役場新庁舎が落成する                                                                                                            | 江能広域浄化センター（鹿川）ができる<br>安芸能美簡易保険保養センターができる<br>広域無線（防火）施設を開設する                                                                                     | 沖く字品間に高速艇が就航する<br>美能クランドに夜間照明を設置する<br>三高フェリー浮桟橋が完成する                                       | 飛渡瀬・大柿両中学校を統合して大柿中学校とする<br>柿田集会所を新築する<br>ゴミ分別収集を開始する<br>大君老人集会所を新築する<br>第1回町内駅伝大会を開催する<br>大柿町コミニティづくり推進協議会を結成する                       |
| 小用く呉間高速艇が就航する                                                                                                                                                          | 広域無線（防火）施設を開設する                                                                                                                                 | 第1回クロスカントリー大会を開催する                                                                         | 江能広域葬斎センターが落成する<br>大柿町中央公民館を新築、開館する<br>柿浦漁港が完成する<br>役場庁舎を増築する<br>第1回公民館まつりを開催する                                                       |
| 町の木、町の花を「くく」と決定する                                                                                                                                                      | 能美町役場新庁舎が完成する                                                                                                                                   | 町章制定、町の木・町の花を決める                                                                           | 江能広域葬斎センターが落成する<br>大柿町中央公民館を新築、開館する<br>柿浦漁港が完成する<br>役場庁舎を増築する<br>第1回公民館まつりを開催する                                                       |
| 中央共同墓地が完成する<br>秋月トンネル（1005m）開通記念式<br>武道館が落成する                                                                                                                          | 呉養護学校江能分級が開校する<br>大天防災緑地が完成する<br>町章を制定する                                                                                                        | 町章制定、町の木・町の花を決める                                                                           | 深江老人集会所を新築する<br>小古江老人集会所を新築する<br>柿浦に厚生文化センターを新築する<br>大君・柿浦地区に役場連絡所を開設する<br>防災行政無線を設置し、町内23か所の拡声器で放送を開始する                              |
| 江田島警察署新庁舎が落成する<br>秋の広島県植樹祭を古鷹山で開催する                                                                                                                                    | 町章を制定する                                                                                                                                         |                                                                                            |                                                                                                                                       |
| 林道切串線が開通する                                                                                                                                                             | 中央運動公園が完成する                                                                                                                                     | 沖美町文化財保護委員会を発足する<br>防災無線施設が完成する<br>江能広域埋立センターを設置する                                         |                                                                                                                                       |
| 1983（昭和58）年                                                                                                                                                            | 1980（昭和55）年<br>1981（昭和56）年<br>1982（昭和57）年                                                                                                       |                                                                                            |                                                                                                                                       |



## 江田島市

油美支所





協働・改革・前進。  
自信や誇り・愛着を持ち、  
未来の夢を語りましょう。

平成16年11月1日に、江田島町・能美町・沖美町・大柿町が合併し、「江田島市」が誕生して5年がすぎました。2代目江田島市長として、「協働・改革・前進」をスローガンに掲げ市政を推進することに、その職責の重大さを痛感しています。

これからのまちづくりは、市民が、自分たちのまちに自信や誇り・愛着を持ち、未来の夢を語れることが大切です。そのために、行政はこれまで以上に自らを厳しく見つめ直し、市民と市職員の一人一人が、まちづくりに積極的にかかわっていくよう取り組んでいます。

本誌は、江田島市の現状と、多くの自然や歴史に恵まれた魅力を紹介しています。ご一読いただき、江田島市の発展のため、一層のご支援とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

江田島市長  
田中達美

## 議会・行政



議長 上田 正



副議長 新家 勇二



議会

市民の声を行政に伝え、市政に反映させる場として、議会は市民と行政と連携し、だれもが生きがいを持ち、住みやすいまちづくりに積極的に取り組んでいきます。

市民の声をまちづくりへ反映させるための機関として議会があります。議会は市民から選ばれた20名の議員で構成されており、年4回の定例会に加え、必要に応じて臨時会も開催されます。議会では、条例や予算といった重要な行政執行に関することや市民からの請願などが審議されます。議会で審議された内容を分かりやすく市民に伝えるため、「議会だより」を発行しています。



幹部会議



市民の積極的な参加を推進し、市民とともに発展する行政を目指します。また機敏で斬新なアイデアによる施策の展開、市民に「てきぱき」とした対応を行っていきます。

地方分権が叫ばれている中、住民自治の構築と住民サービスを向上させるために、行政機関の役割はますます重要になっています。

「住民自らが自らの地域のことを考え、自らの手で」を自覚し、住民と行政の協働のまちづくりを進め、だれもが「住んでよかった」と思うような活力に溢れた市を目指します。





発行・編集 **広島県江田島市**

〒737-2392 広島県江田島市能美町中町 4859 番地 9

TEL. (0823) 40-2211[代表] FAX. (0823) 40-2072

URL / <http://www.city.etajima.hiroshima.jp>

E-mail / [info-etjm@city.etajima.hiroshima.jp](mailto:info-etjm@city.etajima.hiroshima.jp)

印刷 / 中本総合印刷株式会社